

令和3年8月5日
原子力安全対策課
(03-18)
<16時00分記者発表>

大飯発電所3号機の出力降下について (A循環水管のベント弁付近から海水漏れの調査状況)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3号機(加圧水型軽水炉;定格出力118.0万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、8月4日5時6分に「2次系サンプルピット注意」の警報が発信した。

運転員がタービン建屋内の現場を確認したところ、復水器に海水を送るための循環水管(A、B2系統)のうち、A循環水管のベント弁付近から海水が漏れていることを確認した。

このため、同日5時37分より循環水ポンプA号機の停止操作を開始し、7時40分に停止した。その後、7時41分から出力降下の操作を行い、10時30分に電気出力65%に到達した。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。

※ 2次系サンプルピット: 2次系排水の貯水槽。

※ 循環水ポンプ : タービンを回した蒸気を復水器で冷やして水に戻すために、復水器に海水を送りこむポンプ

(8月4日記者発表済)

その後、A循環水管のベント弁付近の点検を行ったところ、海水は、当該弁と循環水管の接続配管(炭素鋼:直径約17cm、長さ約13cm、厚さ約7mm)から漏れいしていることを確認した。

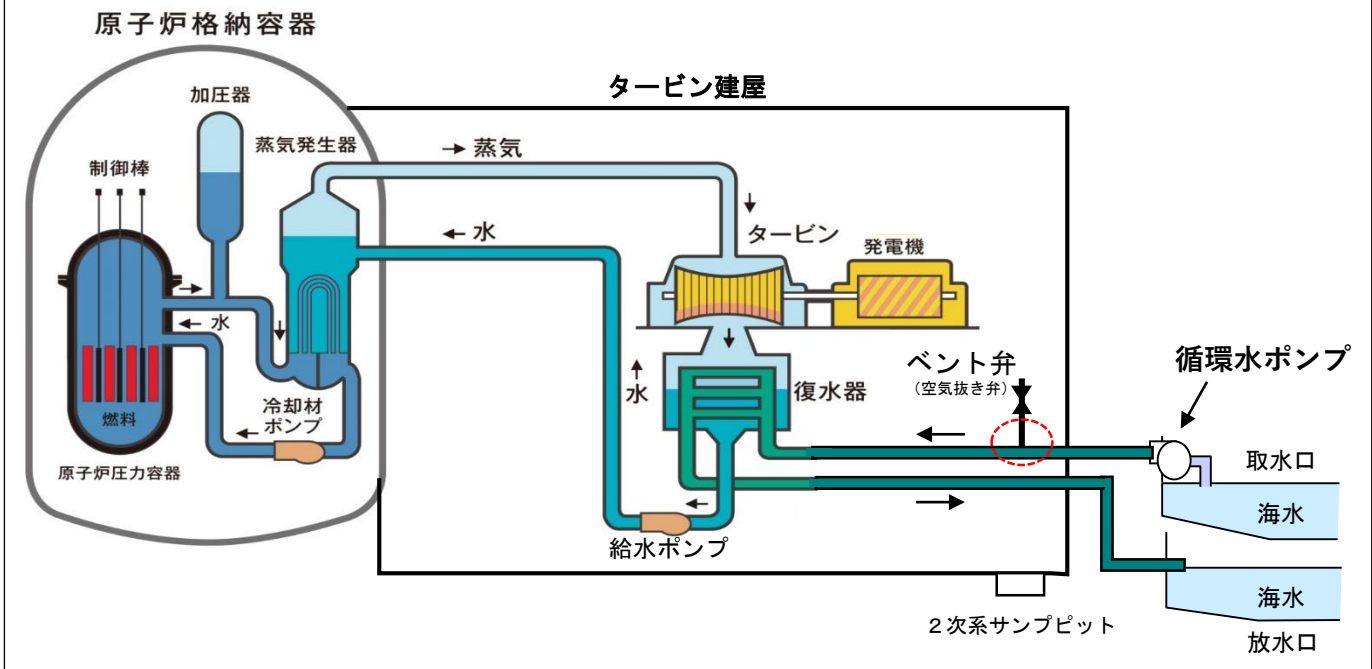
漏れ箇所の外観観察を行った結果、直径約4cmの円形状の貫通孔を確認した。このため、現在、貫通孔が発生した原因等について調査を行っている。

なお、本事象については、実用炉規則134条第2号に該当するとして、本日、原子力規制委員会に対して報告を行った。

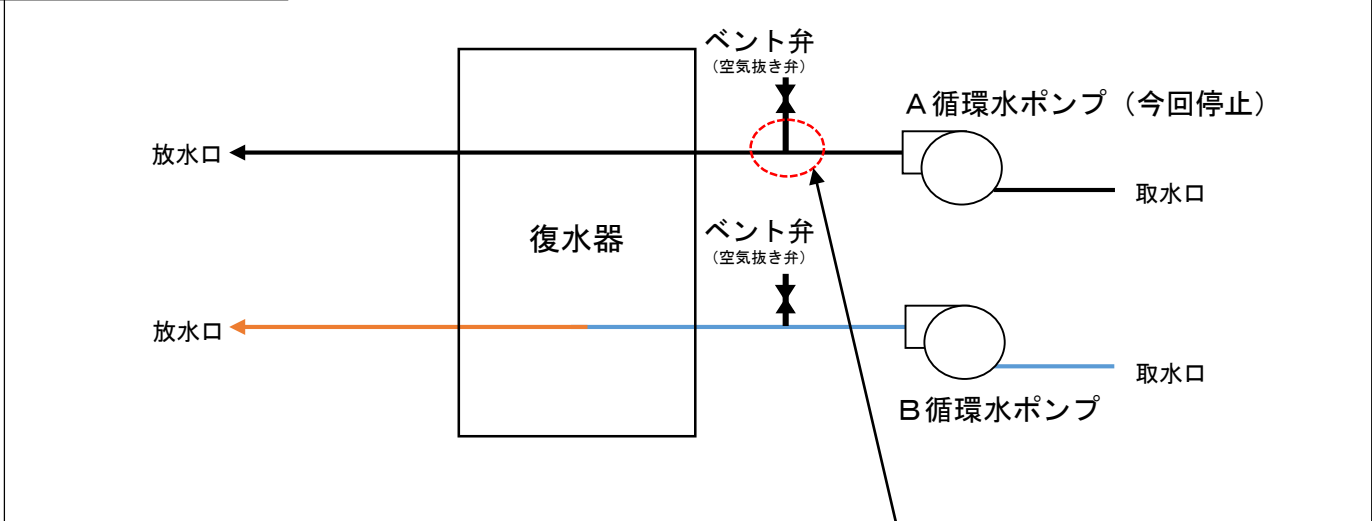
問い合わせ先 原子力安全対策課(内園) 内線2354・直通0776(20)0314

A循環水管ベント弁付近からの海水漏れ (調査状況)

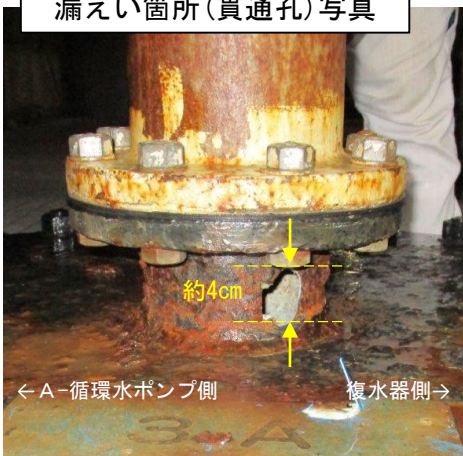
系統概略図



復水器系統概略図



漏えい箇所(貫通孔)写真



ベント管概略図

